

《蕎麦切り発祥の地》

天目山

蕎麦まつり

令和7年 11月 8日(土)・9日(日)
9時～15時 志納金 1000円

両日とも 10時より蕎麦奉納

参拝者無病息災の御祈祷

引続 蕎麦ふるまい

○奉納者

8日 川田奥藤第二分店
江戸ソバリエ神奈川の会

9日 そばの実
砥草庵



← 2日間限定御朱印
『十字架捧持マニ像』の
特別御朱印を授与。朱印
帳に書き入れします。

★臨時駐車場のお知らせ

お寺周辺には駐車場が極めて少ないため、臨時駐車場を御利用ください。無料の送迎車も往復します。
御協力をお願いします。



法話スペシャル 8日のみ

建長寺派布教師の和尚様が
20分の法話を行います。
10時半～14時

施茶

住職手作りの精進
菓子でおもてなし。紅葉の天目山
でゆっくりおくつろぎください。



← コラボ御朱印

栖雲寺と景德院の2か寺
を参拝して完成する今秋
6週間だけの御朱印です。

宝物風入れ展

- 10月末に京都国立博物館からご帰還された
『十字架捧持マニ像』
- 3月にテレビ朝日の博士ちゃんで放送された
『信玄公軍配』
- 重要文化財『木造普応国師座像』など
寺宝を一挙公開

〈お問合せ〉 甲州市大和町木賊 122
天目山 栖雲寺 0553-48-2797

Web : tenmokusan.or.jp



ホームページ

天目山栖雲寺 宝物風入れ展

寺宝一覽

伝灯庵（宝物殿）展示

木造普応国師坐像(重要文化財・彫刻)
木造業海本淨坐像(県指定文化財・彫刻)
木造釈迦如来坐像(県指定文化財・彫刻)

公民館展示

絹本着色十字架捧持マニ像(県指定文化財・絵画)
白紗地九条袈裟(県指定文化財・工芸品)
栖雲寺開山墓出土常滑甕(県指定文化財・考古資料)
武田二十四将画像(市指定文化財・絵画)
摩利支天の画像(市指定文化財・絵画)
釈迦の涅槃図(市指定文化財・絵画)
信玄公軍配(市指定文化財・工芸品)
武田軍旗(市指定文化財・工芸品)
信玄公陣中鏡(市指定文化財・工芸品)
妙智鏡(市指定文化財・工芸品)
兎の文鎮(市指定文化財・工芸品)
水差し(市指定文化財・工芸品)
水晶大数珠(市指定文化財・工芸品)
龍鬚払子(市指定文化財・工芸品)
天目茶碗(市指定文化財・工芸品)
七宝の香炉(市指定文化財・工芸品)
業海筆板木(市指定文化財・書跡)
業海の遺偈(市指定文化財・書跡)
天保年間の御札板木(市指定文化財・書跡)

屋外展示

栖雲寺庫裏(県指定文化財・建造物)
栖雲寺宝篋印塔(県指定文化財・建造物)
栖雲寺開山宝篋印塔(県指定文化財・建造物)
銅鐘(県指定文化財・工芸品)
地藏菩薩磨崖仏(県指定文化財・彫刻)
文殊菩薩磨崖仏(県指定文化財・彫刻)
栖雲寺庭園(県指定文化財・名勝)
栖雲寺本堂(市指定文化財・建造物)
武田信満の墓(市指定文化財・史跡)

栖雲寺縁起

標高1,050mの山中にある臨済宗建長寺派の禅寺で開山は業海本淨。業海は約700年前に元（中国）へ渡り、杭州天目山の中峰明本に師事して修行。日本へ戻ると、中国の天目山によく似たこの地を生涯の修行の場として栖雲寺を開き、日夜坐禅をされました。後に武田信満（信玄の6代前）が隠棲、菩提寺としてからは東日本の幻住派の中心的寺院として栄えました。



貞和四年戊子開茲山建精舍

じ
よ
う
わ
よ
ね
ん
つ
ち
の
え
ね
こ
こ
に
や
ま
を
ひ
ら
き
し
よ
う
じ
や
を
た
べ

十字架捧持マニ像(県指定文化財)

近年の調査で、元の時代（13～14世紀）に描かれたものと判明。仏画でありながら十字架を持ち、マニ教の特徴である衣類（ショール）をまとい、三つの宗教が融合された、世界でも類を見ない珍しい絵画。平成22年にはニューヨークのメトロポリタン美術館、令和7年には京都国立博物館特別展「宋元仏画」に出品・展示されました。



●主催

天目山 栖雲寺
山梨県甲州市大和町木賊122
☎ 0553-48-2797
<http://www.tenmokusan.or.jp>

住職 青柳 真元

● 協力

甲州市教育委員会
生涯学習課文化財担当
☎0553-32-5076